



第31号

秋田県立金足農業高等学校同窓会発行
〒010-0126 秋田市金足追分字海老穴102の4
☎018-873-3311 FAX018-873-3313
株式会社 八郎印刷
☎018-875-4005



あいさつ

同窓会会長 高橋 浩人

青田の勢が増す頃、金足農業高校同窓会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

コロナ禍が続く学校行事にも影響が出ていることと思いますが、生徒は限られた環境の中で精一杯努力し、スポーツや農業クラブ、文化活動、進路で成果を上げています。

今年卒業式では、国歌も校歌も歌わずに正聴でした。「可美しき郷 我が金足 霜しろく 土こそ凍れ」声を出さない分全員の思いが込められており、答辞・送辞も心のこもった素晴らしい卒業式となりました。卒業生の今後の活躍を願っております。また、金農の同窓として同窓会活動へのご協力もお願いいたします。

入学式では一五七名が入学しました。しかし、今年も同窓会として県

れの状況であります。松田校長先生は、今後積極的に中学校訪問等行い金農の魅力伝えて行くこととしておりますので、同窓生においてもご協力をお願いいたします。

同窓の押尾川親方(豪風)は、部屋持ち親方として新たな相撲部屋を四月に落成しました。同窓会として、金足農業高校名入りの紫色座布団五十枚を寄贈し、今後の親方としての活躍を応援しております。

昨年度は基本設計が行われ、令和四年度は実施設計に進むことになっております。新校舎は現野球場に建てられ、野球場は室内練習場に隣接する果樹園に整備され、果樹園を含めた農場は新たに整備される予定です。今年も同窓会として県



知事への要望を行い、よりよい形で校舎改築が進むよう取り組んで参ります。

世界的な小麦や大豆の不作にロシアのウクライナ侵略による影響も加わり、世界で食料不足が顕著となり日本でも小麦や食用油が値上がりしております。

そうしたなか、日本の食料自給を支える農業は益々重要になっていきます。

母校の発展と同窓会員の益々のご活躍をこ祈念申し上げます。



不撓不屈の精神

校長 松田 俊二

秋田県の新型コロナ感染者数が連日二百人を超える報道がなされる中、新年度が始まりました。全国的に見ても感染者数が減少に転じない状況ですが、以前よりも行事や催しが多く開催されるようになりました。

母校の近況報告をしたいと思えます。

一昨年は中止した修学旅行を、三泊四日の関西方面から、昨年度は一泊二日の県内旅行に変更しました。史跡である尾去沢鉱山跡で砂金掘りを経験し、田沢湖に一泊。二日目は角館散策と横手ふるさと村にあるブラネタリウムでオーロラ観測の体験をしました。出発前は、生徒たちも盛り上がり欠けていたようですが、砂金掘りで大はしゃぎし、さらにガイドの説明も素晴らしかったことから、「満足した」との声が非常に多かつたことにほっとしているところです。

また、金農祭では、修学旅行が中止になった代の三年生から、「高校時代の思い出づくりのために竿燈を上げさせてくれないか」という申し出がありました。生徒が所属している竿燈会の協力を得て実施の運びとなりました。差し手や笛や太鼓のお囃子も生徒が担当しました。夜空に舞う竿燈の背後で花火が打ち上げられ、思い出に残る金農祭となったようです。

校舎改築については、基本設計が終了し、実施設計に入りました。令和十二年度の完成を目指し、協議が行われているところです。

今後も同窓生の皆様の御支援をお願い申し上げますとともに、同窓会の益々の御隆盛と会員の皆様の御健勝を祈念して、あいさつとさせていただきます。

支部だより

秋田市役所草の芽会

会長 鎌田 信也

令和四年一月十四日(金)に秋田キャッスルホテルにおいて、令和四年秋田市役所草の芽会総会および新年会を開催しました。

本会は、秋田市役所に在職する金足農業同窓会員で組織されており、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連絡調整に必要なことを行う会です。

現在、会員数は、百名で秋田市役所においても多くの卒業生を有する会ですが、ここ十年間で会員が約半分となり、人口減少と少子高齢化の煽りがここにも現れております。

当日の参加者は草の芽会々員が五十名と高橋浩人同窓会長様、同窓の市会議員の方々など多数のご来賓

からも出席をいただくことができました。

残念ながら松田聡校長先生を始め、学校関係者の皆様の参加は残念ながらありませんでした。

新年会は、高橋同窓会長様からの母校の近況報告や押尾川親方(元関脇 豪風関)の部屋開設、東京パリンピック視覚障害T12クラスで七位入賞という輝かしい成績を取った熊谷豊選手の話などで終始なごやかな雰囲気のもと盛会に本会を終えることができました。

また、うれしいことに母校から草の芽会に今年度も一名(高橋愛実香さん)の新入会員があり、先生方の頑張りと生徒の努力によるものと、大変喜んでいるところです。

今後とも優秀な人材を送り込んでいただけるようお願い申し上げます。



令和4年度 同窓会一般会計予算書

令和4年5月27日

収入総額 4,151,000円
支出総額 4,151,000円
差引残額 0円

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増/減), 摘要. Rows include 会費(在校生), 会費(卒業生), 繰越金, 寄付金, 繰入金, 雑収入, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増/減), 摘要. Rows include 総務費, 会議費, 事業費, 基本積立金, 慶弔費, 雑費・広告費, 予備費, 合計.

令和3年度 同窓会一般会計決算書

令和4年5月27日

収入総額 4,420,590円
支出総額 2,386,427円
差引残額 2,034,163円

収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 比較 (増/減), 摘要. Rows include 会費(在校生), 会費(卒業生), 繰越金, 繰入金, 寄付金, 雑収入, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 比較 (増/減), 摘要. Rows include 総務費, 会議費, 事業費, 基本積立金, 慶弔費, 雑費・広告費, 予備費, 合計.

Calendar table for 令和4年度 with columns for dates (7月2日, 6月中旬, 5月27日, 4月28日, 4月27日) and activities (総会中止, 新聞発行, 役員会, 会計監査, 押尾川部屋).

令和4年度 事業計画(案)

Calendar table for 令和3年度 with columns for dates (3月29日, 2月4日, 1月14日, 1月11日, 9月2日, 7月15日, 7月14日, 7月8日, 7月4日, 6月25日, 5月28日, 4月28日) and activities (役員会, 秋田県庁, 秋田市役所, 記念品打合せ, 東京同窓会, 校舎改築要望, 熊谷豊氏, 祝パナル作成, 甲子園予選, 総会中止, 同窓会新聞発行, 役員会, 会計監査).

本部・支部事業

令和3年度 会務報告

部活動紹介

相撲部

顧問 鈴木 涼汰

歴史と伝統ある金農相撲部は現在選手七名、マネージャー三名の計十名で活動しています。過去の先輩方はインターハイ団体優勝・個人優勝・国体個人二連覇など輝かしい成績を収めています。また、全県総体においても六連覇を達成するなど、開催回数の約半数の優勝を占めております。

昨年度の全県総体は、全国新人で団体三位に入賞し、全国でも屈指となった秋田北鷹高校の力量を感じながら、何とか一矢報いたいと稽古を重ねて迎えた二年ぶりの全県総体でした。個人選手権での金農選手のランクインが叶わず、この土俵にすべてを置いてこよう、と臨んだ団体戦。先鋒を務めた加藤楓基(当時二年)が、スピードありパワーあり、実力では歴年の差がある、後にインターハイ中量級三位となる北鷹の選手の足を取ったまま寄り切り、大金星となりました。体重七十キロにも満たない小兵・加藤が見せた「努力の成果」でした。この奮起がチームに勢いを手繰り寄せたかに見えましたが、次鋒から大将戦は力の差、経験の差を感じさせられる結果となりました。しかし、その後の体重別軽量級で加藤がまたもや大番狂わせを演じ、優勝。金農相撲部としては四年ぶりとなるインターハイ出場選手の輩出となりました。今年度は、悲願の全県総体団体優勝・インターハイ出場を目標に、主将の石川鳳、加藤楓基を中心に稽古に精進しているところです。どうか応援の程、宜しく願います。



美術・イラスト部

顧問 石塚千鶴子

美術・イラスト部は個人の制作活動を主としていますが、お互いの活動を確認する時間を週一回の割合で設けています。

令和三年度は、秋田県高校文化祭総合美術展で特賞一点と推奨一点、さらに秋田・南秋地区高校美術連盟展で連盟賞一点の受賞ができました。他に、金農祭での作品展示や、ポスター募集事業への応募などの活動もしています。秋に販売された金農米の外袋のデザインは、金足農業高校の生徒たちの活動を表現した部員の作品が採用されました。

今年度は、七月三十一日から八月四日までの日程で全国高等学校総合文化祭が東京で開催されますが、特賞を受賞した生物資源科三年小野美羽さんの作品が「東京都美術館」に展示されることが決まっています。審査員の先生からは「メッセジ性のある作品」と評価され、本校の校長室前に冬期間だけ展示しました。

四月現在、新入部員を加え十四名となりました。今年度も様々なアイデアを作品にして活動していきたいと思えます。

金農米デザイン



造園緑地科卒
小野 花心
(秋田公立美術大学1年)

推奨

「about me」



生活科学科3年
田邊 紗妃

特賞

「こっちも見てよ」



生物資源科3年
小野 美羽

令和三年度卒業生の進路状況について

進路指導部 戸坂 昌成

1 進路概況

令和三年度の卒業生は、百七十三名(男子八十七名、女子八十六名)で、そのうち就職者は九十二名(男子五十七名、女子三十五名)で全体の五三・二%で、昨年度とは異なり進学者数八十名(男子三十名、女子五十名)を上回りました。県内就職者は、八十一名(男子五十二名、女子二十九名)で就職者の八八・〇%を占め、例年に比べてもかなりの高水準になりました。これは、コロナ禍の中県外への就職を躊躇する生徒が多かったためと推測されます。

2 就職状況

令和二年度は、コロナ禍のため就職日程が一ヶ月後ろ倒しになりましたが、三年度は例年通りの日程に戻りました。求人数は、飲食店・調理関連の求人は少なかつたものの、建設・土木をはじめとする県内各企業の採用意欲は高く、約八割の生徒は一回目の試験で内定をいただくことができ、その他の生徒も十二月までには内定をいただくことができました。

4 終わりに

前に述べたとおり、求人に関してコロナ禍の影響はあまり感じられませんでした。しかし、二年次のインターシップの中止、オープンキャンパスの中止やリモート化などさまざまな不安要素が出てきています。さらにウクライナ問題もあり、今後の景気動向も不透明です。学校としてもよりきめ細かく進路指導しているかなければならないと考えています。同窓生の皆様にも是非ご支援をいただき、金農一丸となってこの困難を乗り越えていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。

3 進学状況

進学者の内訳は、四年制大学三十三名(男子十八名、女子十五名)、

公務員に関しては、令和二年度と同数の十六名が合格しました。県庁をはじめとする土木職に八名、行政職に三名、消防にも二名合格者を出すことができました。

押尾川部屋に 校名入り座布団贈呈



押尾川部屋の新設に伴い四月二十七日に高橋同窓会長が同部屋を訪問し校名入り座布団を贈呈しました。訪問時は、まだ部屋の一部や外構の工事でしたがとても立派な建物。押尾川親方は、生徒が作った綿も入っているの、大切に使用させていただき、時期を見てお礼に伺いますとのことでした。



学校創立記念講話

四月二十三日(土)記念行事にて全校生徒向け学校創立記念講話が行われました。講師には潟上市長・鈴木雄大氏(同窓会副会長)をお招きし、「私と雑草魂」のタイトルで目標に向かって、金農生としての「誇り」をもって、社会で頑張ってきたことについて熱く語ってくれました。



令和4年度

総会中止について

新型コロナウイルスの感染予防のため今年度の総会は**中止**することになりました。

令和3年度：決算報告書 令和4年度：予算書についてはご覧くださるようお願いいたします。

当番幹事について(連絡・お願い)

当番幹事(生徒会役員経験者、農業クラブ役員経験者、各科代表等)の皆さんで総会の準備や運営をいたします。

時期が来ましたら、幹事会を開いて打合せを行いますのでご参加ください。

令和5年	昭和58年 3月卒業	平成5年 3月卒業	平成15年 3月卒業	平成25年 3月卒業
令和6年	昭和59年 3月卒業	平成6年 3月卒業	平成16年 3月卒業	平成26年 3月卒業
令和7年	昭和60年 3月卒業	平成7年 3月卒業	平成17年 3月卒業	平成27年 3月卒業

令和3年度

『同窓会』会費

納入状況・案内送付状況

- 1 会報発送数 3,801通
- 2 振込数 合計 656件
- 3 振込総金額 合計金額 1,312,000円
- 4 返信数(宛先不明) 45件

『同窓会』会費納入のお願い

会費につきましては、同窓会の運営や同窓会の目的である農業教育の振興や母校の発展に寄与するための運営資金として活用させていただいております。

会員の皆様には、母校の同窓会活動へのご理解とご協力をお願いするとともに会費の納入をお願いいたします。

編集後記

皆様方のお陰で、同窓会新聞第三十一号を発刊することができました。お忙しい中寄稿いただきまして、誠にありがとうございます。

早いもので今年も半分が過ぎようとしています。学校では新入生を迎え今年度がスタートして慌ただしく行事をこなしながら六月に入ります。

本校は創立百周年に向かい現在校舎改築の計画が進められています。これまで築かれて重ねられた「可美しき郷」の歴史を受け継ぎ新しい世代へと受け渡しと感じられています。

最後に、会員の皆様がおかれましては益々のご健勝を祈念いたします。

(事務局・佐々木周幸)

